



- 説明文
 - この図は、泉大津市内において、水防法の規定に基づく想定最大規模降雨が発生した場合に、浸水が想定される範囲やその深さを示したもの。この図で色がついていない場所は、計算上では浸水しない場所です。しかし、雨の降り方によってはこの図に示されていない場所でも浸水する可能性があります、浸水深も深くなる場合がありますので注意してください。
 - この図は、指定時点の泉大津市の下水道施設等の整備状況を勘査して、想定し得る最大規模の降雨に伴う雨水出水により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。
 - この図において、水防法第14条の2第2項の規定により定められた雨水出水浸水想定区域は、公共下水道等の排水区域（赤枠）のうち浸水が想定される区域（着色部）で示しています。
 - 簡易手法を用いた区域のシミュレーションは、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めるものです。時間経過に伴う排水等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深が異なる場合があります。
 - このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、洪水（河川の破堤または越水）による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深と実際と異なる場合があります。
 - このシミュレーションは、想定最大規模降雨による浸水を想定するため、排水先の河川及び海域の水位を想定される最高水位に設定しています。
 - 水害時において避難や水防活動を開始するタイミングは、お住いの状況等により異なることから、自らの判断で適切に行動してください。
- 基本事項等
 - 作成主体：泉大津市
 - 指定年月日：令和3年1月20日
 - 告示番号：泉大津市告示第12号
 - 指定の根拠法令：水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項
 - 指定の前提となる降雨：想定最大規模降雨（時間最大雨量147mm 日総雨量158mm）
 - 浸水想定手法：降雨損失・表面流出・管内水理・氾濫解析を一連で実施
 - 境界条件：河川の水位は堤防天端高、海域は計画対象潮位
堅川防潮橈門・緑川防潮橈門・新川防潮橈門・八軒川防潮橈門は閉鎖、公共下水道事業計画に定める我孫子雨水幹線及び池浦雨水幹線に直結する橈門は開放
 - その他計算条件等：
 - 対象区域を5m（25m）のメッシュに分割し、メッシュごとの浸水深を計算
 - 想定し得る最大規模の降雨により、長時間（24時間以上）にわたり浸水（0.5m以上）する恐れがある場合、水防法施行規則第5条第1項第3号に基づき、浸水継続時間を明記する必要がありますが、シミュレーションの結果、長時間にわたる浸水が見られなかったため、浸水継続時間を表示していません。

業務名	図面番号	作成年度
雨水出水浸水想定区域図 [想定最大規模降雨 S=1 : 10,000]		令和5年度